

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	高緑の道しるべ（児童発達支援）		公表日	2026年 2月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		年齢で部屋分けしているため、十分な活動スペースを確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4		食器は1日1回利用後を必ず以上消毒している。従業員とは別に清掃専門の職員を配置し、事務員が清掃業務から離れられるように変更している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構築された環境になっているか。また、事業所の態勢等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	5		建物内部は障がい児の特性を考慮して設計を行いました。バリアフリー化が必要な箇所は随時設置してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子どもたちが心地よく過ごせるように日々清掃を行い、清潔な環境を維持していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		持ち物の整理が難しい子どもは、静かに気持ちを落ち着かせることができる感覚があり、いつでも利用ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	3	1	職員会議を月に一度開催している。計画についてはいつでも見ることが出来るようにするなど職員全員が参加できる体制にしている。	活動予定や朝会のボードにも活動の進捗を記載し情報共有し、所内会議の招きも職員全員が参加できるようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		所内会議で評価内容を職員全員に周知し、保護者の声を把握するように共有し全職員が把握できるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月に1回協議を兼ね職員に意見をもらう機会を設け、積極的に声に出している。また、非常勤職員の方も参加してもらい情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		外部評価については検討中です
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修には今後も積極的に参加していく。	外部研修に参加する機会を設けており、今後は内部研修も進めていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	5		支援プログラムの作成、公表はしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者面談を増やし、面談内容は職員へ情報共有を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通認識の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		月に1回の会議だけでなく、日々の子どもの様子や共有や現在の支援内容の見直しが必要と話し合う機会を常に設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員に情報共有を行い、計画通り支援が行われている。	
	15	こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いるように実施しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわたり及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	地域支援、地域連携の部分がまだできていないように思える。	地域との関りが少ないので今後、地域の方々との交流を増やしていくイベントを計画していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月末から月初にかけて活動予定表の作成を行っている。	各職員が順番に立案を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		年少、年中、年長と年齢に応じたプログラムの作成、また昼々合わせたプログラムになるように、工夫した活動内容にしている	静と動を組み合わせ、活動内容が偏らないように職員全員でプログラムを考え支援をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		日々の利用状況、子どもの年齢に合わせて個別、集団療育を織り交ぜて計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか。	3	1	その日の支援での振り返りや、達成できたこと、成長が見られたところを日々交換し、振り返りを実施している。	その日できなかった場合は翌朝には必ずするようになっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の種類・改善につなげているか。	5		毎日職員が交代で記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		保護者の方との面談を増やしている。	保護者面談を増やし、状況に応じて支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業者のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5		児童発達支援管理責任者が毎回出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、放課後の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて関係各所に連絡をして連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や子どもも、発達支援、特別支援学校(分科部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保育園や幼稚園の担当者に支援計画を渡し、情報共有を行い連携を図っていく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		相談員や保育所等訪問支援員を通して、情報共有を行い連携を図っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				外部施設との連携があまり出来ていないため、積極的に情報を取り合い連携していく。
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。		4		
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在、交流会等は実施できていないため検討していく。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	連絡帳で様子の共有や返読時に保護者と共有する機会を増やしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や療育等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		ペアト等を実施していないが、保護者面談を増やし個別に対応していく。今後、父母会の開催を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に合わせて説明を行っている。	
	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の観点から最善の取組を踏まえ、こどもや家族の意向を踏まえる機会を設けているか。	5		契約時にアセスメントを行い、保護者や本人の意向を確認している。最終的にご家族の了承を得て支援を行っている。	
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援管理責任者が計画書をもとに直接説明を行い、同意を得ている。	
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者面談を増やし、直接会う機会を増やして支援に活かしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会については今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備することともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		即座に対応し、全職員へ周知し同じことが起こらないように徹底している。	
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動状況や予定、連絡先等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムで毎日活動の音を発信している。活動予定表を毎月発行して、行事予定も発信していく。	
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報取扱いがないように契約時に説明をし、職員にも徹底している。	
非常時等の対応	44	感染症の発生や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		4		地域住民との交流する機会が少ないため交流できるイベントの計画を行っている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	マニュアルを作成し、見える位置に設置済み。訓練は2回実施しており、訓練にはマニュアルを参照し訓練を行っている。また、保護者への告知も行う予定です。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画を作成し、避難訓練を年2回実施している。事前に継続訓練の要否を確認し職員全員でマニュアルの確認を行っている。	
	48	事前に、地震や火災等の、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	5		契約時に聞き取り、情報収集している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		契約時に聞き取り、食物アレルギーのある方については医師の指示書をもとに依頼している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、事業所内にも掲示しており職員へは研修も行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		災害時の緊急時対応マニュアルを作成、避難場所と緊急連絡先のお知らせを保護者の方へ配布を行った。	
	52	ヒヤリハットを事業所で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		小さなことでも共有し、大きな事故への防止につなげている	ヒヤリハット案件が発生時はすぐに職員間で共有している。
	53	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止マニュアルを作成し、読み合わせや事例を使った研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束についての説明書を作成し、保護者の方へ説明している。		